



水・緑・空
笑顔かがやく
ふれあいのまち

YOSANO

広報よさの

No. 59

●主な記事

02 町長新春インタビュー

15 有線テレビ番組ガイド

●今月の表紙

阿蘇海の日の出（12月18日撮影）

2011

1

「明けましておめでとございます。町長にとって昨年は、4月に再選を果たされ、2期目のスタートを切る年であつたと思いますが、一年を振り返つていかがでしょうか。明けましておめでとございます。記録的な猛暑となつた昨年は、与謝野町では大きな被害はありませんでしたが、クマや有害鳥獣被害に悩まされた年でした。」

一方で、経済に目を移すとヨーロッパにおけるギリシャ危機や国内経済の回復の遅れのために円高が急激に進み、日本経済は今までも増して深刻な状況にあります。与謝野町においても、従来からの不況に加えて、こうした影響が中小企業の経営に深刻な影響を落としています。

「町政懇談会」で各地区を回り皆さんの声を聞かせてもらう中で、地域経済が停滞し、住民の皆さんが生活に大きな不安を感じておられると、肌でひしひしと感じました。

町政懇談会で感じた 住民意識の変化

「町政懇談会は1期目から重なること120回。2期目

【巻頭特集 ● 町長新春インタビュー】

与謝野町流のまちづくりで 飛躍の一年に。

4月に再選を果たし、2期目を迎えた太田豊美町長。これまでに取り組んできた事業に対する思いや成果、そして町長が考える今後のまちづくりの展望とは――新春を迎え、心新たにする町長に聞きました。（聞き手／広報担当）

も継続して取り組まれましたが、合併当初と比べて住民の声に変化はありますか。

町政懇談会は、住民の皆さんと目録を同じくして行政を行うために、最も大切にしてきたことです。まちづくりへの姿勢をお伝えする一方で、住民の皆さんの生の声や思いを直接聞き、対話できる貴重な機会と位置づけて取り組んできました。



町政懇談会 ● 町内全24地区を回り、毎年実施。合併後から昨年までの5年間で120回を重ね、延べ3,760人に参加いただいています。

特に今年は、非常に厳しい経済情勢の中でも、各地区におけるさまざまな課題に対して、「行政に頼んでばかりでなく、自分たちでなんとか解決していこう」と、前向きに取り組もうとする姿勢が皆さんの発言から感じとれました。

1期目のまちづくりで重視したのは「旧3町の一体感の醸成」です。2期目は「持続可能なまちづくり」のために、行政の効率化と合理化を図り、「住民との協働」により、具体的なまちづくりを進めていかなければなりません。その足がかりとなる、まちづくりへの住民参画の意識が芽生えてきているように感じます。

こういった変化は、例えば各地域において組織化され、全町域に広がりを見せる公民

館活動も一つのきっかけとなつていのではないのでしょうか。

「そのような変化を感じつつ、2期目1年のまちづくりをどのように展開されたのでしょうか。」

住民の皆さんの手によって作り上げられた「与謝野町総合計画」では「自助」「共助」「商助」「公助」それぞれがリンクしながら、協働のまちづくりを進めることをうたっています。昨年はそれらが具現化され、「与謝野町流のまちづくり」を進めることができた一年だったと思います。

広がりをみせる 与謝野町流

「与謝野町流」とはどのような取り組み方でしょうか。

害者親方支援施設を一体的に整備し、地域住民とともに共生できる福祉の新しいかたちづくりを目指す「地域共生型福祉施設整備事業」へと展開することとしました。

この事業においては、複数の社会福祉法人等が町の掲げる計画を達成するために参画し、法人間の連携を自主的に進め、行政はその動きを後方支援しています。これは、行政主導でも、行政と二事業者という枠組みでもない画期的な取り組み方で、全国でも例がないのではないのでしょうか。定めています。

また、障害のある中高生の長期休暇期間の生活の場を確保する「障害児長期休暇支援事業」や、障害者の就労への



産業振興・観光振興ビジョンと果現しすることで、地域経済の活性化を図ります

意欲向上を目指す「障害者職場実習奨励金事業」は、活発に活動いただいている「障害者自立支援協議会」発案の事業です。

これらの事業は、いずれも与謝野町流のやり方で進められてきたものであり、福祉分野以外にも広がってきています。

地域経済活性化の 鍵は「商助」の具現化

「昌頭、地域経済の疲弊を憂いた」と言われましたが、地域経済活性化への取り組みには大きな期待が寄せられていると思います。その点についてはいかがでしょう。

仕事づくりの面では、総合計画にも「地域内循環経済の構築支援」をうたっており、その一環として平成21年度から「住宅新築改修等助成制度」を設け、大きな成果を挙げています。助成金が最大20万円と高額であること、またさまざまな用途に使える使い勝手の良さから、町内の関連事業者の仕事づくりに加えて、下水道接続への促進にもつながりました。

町内の関連業者約210社、中140社が受注し、対

象件数は427件、補助金は6700万円、対象工事費は10億8100万円と16・1倍の経済効果が得られました。（12月21日現在）

この成果を受け、府内のほか全国の自治体からも数多くの問い合わせがあり、導入に向けて検討する自治体もあるなど、注目を浴びています。

また、有線テレビ事業で整備したケーブルテレビや光ファイバー網、地域ポータルサイトを、ただ見るだけのものとするのではなく、住民の皆さんの情報発信媒体として活用してもらうことがまちの活性化につながるものと期待しています。

「総合計画でうたわれている「商助」というまちづくりへの取り組み方も、地域経済を活性化させる鍵となるのでは。」

「商助」は与謝野町独自の考え方で、事業者もまちづくりに貢献していく姿勢が示されたのが、「観光振興ビジョン」「産業振興ビジョン」の策定と「産業振興会議」の設立です。

総合計画審議会委員、産業

振興ビジョン策定委員、産業振興会議委員には同じメンバーもあり、住民自らが計画段階から携わり、今まさに実行に移そうとしているところです。産業振興ビジョンや産業振興会議の中では、府内初の「中小企業振興条例」等の制定を求める動きもあります。

委員の皆さんの発想を活かし、行政と事業者のまちづくりにける役目を定めるものとして、同条例の制定を目指していきたいと思っています。

「農業分野においては、町の「京の豆っこ」肥料を使った自然循環農業が町全域に広がりを見せています。その一方で昨年は有害鳥獣被害、特にクマの出没が相次ぎ、被害が拡大した年でもありました。」

「京の豆っこ米」の作付面積については、平成22年は118総と、合併時（平成18年）の65総から2倍近く増加しています。また「京の豆っこ」肥料で栽培した大豆の作付面積についても、合併時の8・5総から平成22年には15総となっています。

ご存知のとおり、京の豆っこ米を含む「丹後産コシヒカリ」は、全国食味ランキン



自然循環農業 ● 本来は処分されるおからや魚のあら、米ぬかをブレンドした有機質肥料。自然循環農業を推進

グで平成19年度から3年連続、最高評価の特Aを獲得し、日本でも有数のおいしいお米の産地として全国に誇れるものとなっています。

有害鳥獣対策については、シカ、イノシシの電気柵、フェンス設置への支援や、猟友会の協力を得て小動物も含めた駆除を積極的に行い、またクマ対策としては捕獲オリの設置により積極的な捕獲に努めてきました。

こういった中で、大変うれしいニュースもありました。先駆的な栽培技術の導入等により、大豆栽培を委託している有限会社あつるふあーむが全国豆類経営改善協議会で農林水産大臣賞を、さらに日本農林漁業振興会会長賞を受賞されました。

また、合併後だけでもシカ



住民・地域・事業者それぞれが自分たちの夢の実現に向けて汗を流し、行政はそれに寄り添い応援するという取り組み方です。

具体的な施策でいうと、福祉分野における「地域共生型福祉施設整備事業」が象徴的な取り組みといえます。

合併以降、高齢化等への対応として「安心BCODEMCOプラン」に基づいて与謝野町独自の地域福祉空間整備事業を進め、地域密着型の介護施設等の整備を進めてきました。

昨年はこれをさらに前に進め、加悦地域に特別養護老人ホームと在宅複合型施設、障

やイノシシなど2304頭もの駆除を行っている与謝郡県友会の活動に対して、府知事から農林水産業功労者表彰が贈られるなど、昨年は農業分野で尽力されている阻坂が脚光を浴びた年でもありました。

国民文化祭の開催に合わせ、10月に再開する見通しとなった「アフレカやの里」については、これら農業とのコラボレーションにより、農村レストラン、農産加工施設の管理運営を計画しています。

町建設人が指定管理者というのは全国でも例がありませんが、地域と共に管理運営を考えていけるよう、地元組織団体や文化・工芸の里「道」の駅などの周辺施設、農業者と「アフレカやの里運営協議会」を立ち上げ、相互に連携協力を図ることで地域の活性化に結びつけていきたいと考えています。



アフレカやの里 10月10日から指定管理者を兼ねた法人として運営するにあたり、地元、農協、農業者らと相互に連携と協力を図り、地域活性化につけていきます

一人ひとりの輝きが 与謝野町を つくっていきます

——ここまでは「住民との協働」における成果をお話しいただきましたが、2期目のもう一つのテーマともいえる「持続可能なまちづくり」について町民の思いをお聞かせください。

町財政の現状は、税収が落ち込み大変な状況ではありますが、健全な財政運営を確実に進めているといえます。しかし、国の施策により大きく左右されるため、決して安定しているとはいえません。

「持続可能なまちづくり」には、収入に負合った支出、そして貯蓄は将来のために、と住民の皆さんの当たり前目の縁を大切に財政運営を心がけていかねばなりません。どうしても必要なもの、生命・安心安全を守るものを最優先し、「あつたらいな」は置いておく、これが財政運営の基本的な考えです。同じお金を使うのなら、住民が今求めているものを具現化し、また将来必要となると考えるものに投資していきます。

この考えで小中学校の耐震化を進めてきました。小学校については自費がつかいましたが、残る加賀中学校については改善に向けて検討していきます。

お金がないなら、知恵を出し、汗をかき、最大の効果を上げなければなりません。

その一例として水道施設の改修が挙げられます。高額の施設改修を安価に抑えるため、与謝野町では小さな会社の技術に着目しました。前例にこだわらずに採用した技術は、今では世界に認められるものとなり、昨年内にある水道施設に中国からも視察が訪れるなど注目を集めています。購買が知恵を出し借財を集め、事業者が汗をかいた結果、安価で最高の技術を得ることのできる、脱化学薬品の安全で安価な水を安定して住民の皆さんにお届けできるといった成功例といえます。

また、住民活動のびがりと行政職員のからの意識の転換が、「持続可能なまちづくり」をつくるべくものとも思っています。

まちづくりの主人公は住民の皆さんです。一人ひとりの輝きが、これからの与謝野町



おおた あつみ
昭和21年京都府生まれ。三河内在住。昭和50年から野田川町を計4期務め、平成6年に府内の女性町長として初当選。野田川町議会を3期務め、加賀町・新町・野田川町合併協議会会長として新町誕生に尽力。平成18年に与謝野町初代町長に就任。昨年4月に河津を離れた。座右の銘は「夢の實現は正義となる」

をつくるべくものも確信しています。

住民の皆さんとの キャッチボールを 今年も大切に

——最後に、今年一年の感謝と住民の皆さんへのメッセージをお願ひします。

2期目の4年間は、先送りできなかった課題・問題が山積しており、皆さんにも真剣にまちづくりについて考えていただかなければならない時期となります。庁舎問題は遅れては遅れながら問題です。学校、保育所のあり方についても意見を述べ、ともに内部で検討しているところです。これらの諸課題に向き合うにあたっては、今までの慣習ややり方に流されるのではなく、見直せるものは見直す姿勢を持たなければなりません。

そして、標の玉様にならないよう、いろんな人の意見を聞いて、皆さんに一定の方向性をお示ししたいと考えています。

そのために、これまでから実施してきた町政懇談会や加賀谷青年との対話に加え、今年には「子育てママ」世代との懇談会を行い、あらゆる世代の声をまちづくりに活かしていきたいと思っています。

与謝野町流のまちづくりの第一歩は、住民の皆さんとのキャッチボールです。皆さんの夢を思い、そして豊かな希望を行政は広げていきます。

与謝野町が誕生して5年、ホップ・ステップの段階は終わりでした。今年は飛躍のウサギ年です。住民と行政が手を携えて、与謝野町流の新しいまちづくりに挑戦する一年にしていきましょう。



井田 義之
与謝野町議会 議長

新年明けましておめでとうございます。

与謝野町議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様にはお慶々か、平成23年の新春をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また皆様には、日頃より町議会に對するご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

振り返りますと昨年は、私ただ議員にとりまして、改めて町民の皆様への奉仕に、多くの方々にお世話になりましたこと、改めてお礼申し上げます。

新しく皆様の負託をいただ

いた18名、二期待に応えられるよう頑張りますので、本年もよろしくお願ひいたします。

昨年より景気低迷の中において、急激な円高で企業の苦痛化による失業率の増加と、就職難の心配された一年でありました。

また、昨年は異常気象で、かつてない酷暑が続き、農作物も例年にならぬ厳しい年となりました。鳥獣害に加えて、クマの出没もなぜか与謝野町が頻りに多かつたように聞いています。

さて、新町になって5年目も終りを迎えております。近づく感通つる町であつたつもりが、合併してみるとそ

れぞれの特徴や歴史があり、事業やイベントは活発になりましたが、果たして町民の皆様が合併して良かつたと思つておられるのか、心配しております。

合併のいきさつは経緯として、合併した現実をまづ、将来に希望の持てる与謝野町を築くことが、私たちに与えられた使命だと信じています。

私たちは行政と共に、「合併して良かつたと言えるまちづくり」に邁進しなければなりません。

幸い、昨年より町内全域に有線テレビが配管され、議会の中継も実現していただきました。多くの皆さんから、いろいろな反響をいただけるようになりました。

大変ありがたいことであり、ます。

今こそ、私たちは町民の皆様を代表として、座して待つのではなく、皆様の方へ出かけていかねばならないとも考えています。

昨年の9月定例会の最終日には、「議会活性化特別委員会」を立ち上げました。今日までの議会活動に甘んじることなく、現在の厳しい世相の中で、

皆様の声を聞き、町民の皆様と一緒に、与謝野町の未来を創らねばなりません。その責務を痛感するだけでなく、実行する努力を惜しまない所存であります。

第一歩として、昨年の暮れに議会活性化に関するアンケートも、2000人の皆様にお願ひいたしました。今年には、アンケートの結果を参考に、今後の議会のあり方・方向性を見出し、一步一步前進する一年にしたいと考えております。

町民の皆様におかれましては、私たちの意とすることろをご理解いただき、与謝野町の将来のため、ご協力、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

また、私たちに与えられた大きな課題があります。それは総合計画の実現と共に行政改革であります。

中でも、庁舎の統合問題と保育所・幼稚園、小中学校の適正規模、適正配置の

あり方は、合併特別債有効活用も随分と、遅れて遅れない道だと思っています。

町民の皆様には、それぞれの考え方、ご意見があること、も承知いたしておりますが、この二つは、将来を視野に入れた判断しなければならない最たるものであり、我々の任期の間に方向性だけは決定しなければならぬ課題だと考えています。

結びに、町民の皆様にとりまして、今年一年がご健闘で明るい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。



阿蘇湖に浮かぶ日の出



知得する病気の
れ、熱心にメ
れ、熱心にメ
者を取らなく
さん見られま
した。

講師は、やまぎょうともクリニックの山崎一郎先生（写真裏）。「熱が熱いのは抗生物質が必要？」「熱で頭がおかしくなることはある？」と参加者に問いかけた。解熱剤や熱を冷ますシートの使い方の説明を通して、普段の診療で感じている保護者の間違った知識を紹介。

また、食物アレルギーの診断や免疫力を高めるために大切なことなど、

11月20日に岩瀬保健センターを会場に、合併後初めて開催した「子育て講演会」。「楽しくて、ためになる」をテーマに、子育て・孫守り真っ最中の親子やおばあちゃんたち60人の参加者でにぎわいました。今回は講演会の内容と親子のスキンシップ体験について紹介します。（詳しくは1月18日（予定）の与謝野町有線テレビでご覧ください）

講演会 「知って得する子どもの病気 うそ！ほんと？」

キッズのための 親子スキンシップ体験



講演会の後は、京丹後市を中心にキッズ・ジュニアエアロビックスの指導員として活躍中の中野香里先生（写真裏）による、子どもの運動能力を伸ばすための「親子スキンシップ体験」を親子で体験しました。

大好きなお父さんお母さんの膝の上で、リズムに合わせて揺られたり、ぎゅーと抱きしめてもらったりと、子どもたちのどきどきの笑顔が、いつぱいの楽しい講座となりました。先生は幼児の運動能力を引き出すポイントについて、「スキンシップを含んだ体を動かす遊びを通して、心の安定や意欲を引き出し、良い運動刺激を与えることが効果的」と話していました。

幼児の運動能力を引き出すポイント

- 歩き始めの頃は、大人の足の甲に乗せて一緒に歩く遊びを行う
- ジャンプ遊びを取り入れる
- 手をつないで、一緒に走る
- スキンシップを取り入れる

参加者の声。

子どもが病気になる家族はバニックスになるので、先生の話を聞いて安心できました。

仕事で子どもと遊ぶ時間が少ないので、とても楽しい時間だった。

歩かない子どもでも体操を教えてもらえてよかった。

子どもととても楽しく体操できたので良かった。

簡単に家ででもでき、親の運動にもなりよかった。夫にもやってもらいたい。

ずいぶん間違った知識を持っていたようで、「そうなんだ」と思うことが多かった。

食物アレルギーの子どものがいるので、興味深かった。

講演は資料やデーターを使っても分かりやすく、有意義な時間になった。

薬の作用・副作用・使い方など知らないことが多く、参考になった。



親子スキンシップ体験では、自然と親子が笑顔に

がんばってます！消防団

編集 ● 消防団本部



「火事を出さない、 出さない」を スローガンに 団員一丸となり 予防活動に努めます

与謝野町消防団長 澤田 尚

明けましておめでとございます。新年を家族お揃いで健やかに迎えに出来ましたこと心からお喜び申し上げます。町民の皆様には、日頃より消防団活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

与謝野町誕生以来、「火災ゼロの町・与謝野町」を目指して消防団活動を実施してまいりましたが、昨年は12件の火災が発生しました。火災の原因は複雑多様化しておりますが、一人ひとりが注意して火を取り扱うことで出火を防ぐことができたものがほとんどでありました。消防団では引き続き「火事を出さない、出さない」をスローガンに、防火意識の高揚を図るため、一層の予防活動に努めてまいります。

さて、昨年は操法年でもあり、6月に町消防団操法大会を挙行

し、7月の宮津市消防支部の操法大会ではポンプ車操法・小型ポンプ操法ともに優勝という快挙を勝ち取りました。8月の京都府操法大会においてはその実力を十二分には発揮できなかったものの、与謝野町代表としての大きな使命を果たしてくれました。また、11月には予防消防の取り組みとして「防火パレード」を開催し、町民の皆様には火災予防を訴えました。

いずれの取り組みについても団員は連日の訓練、準備を経て、当日は団員一丸となって日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮してくれたと振り返っております。

自然災害では、昨年は幸いなことに町内において大きな被害なども無く、比較的平穏な年でありました。しかしながら、近年はゲリラ豪雨など、自然災害はいつどこで起きてもおかしくない状況で、災害を予測するこ

とが非常に困難となっております。町民の皆様におかれましても日頃から災害に対する意識と備えを十分にお願ひしたいと存じます。

我々消防団は日夜、消防防災の要として活動しているところですが、消防団を取り巻く社会的環境は近年大きく変化し、自営業の団員が減る一方で会社勤めの団員が増え、新人団員や昼間の火災等に出動する団員の確保が難しいなど大変厳しい状況にあります。しかしながら、近年の災害発生現場において、多数の消防団員が目撃まじい活躍をし、その重要性が改めて認識されているのも事実です。

本年もこれら消防力の確保とともに、町民の皆様の生命と財産を守り、「自分たちの町は自分たちで守る」という消防精神のもと、団員一丸となってさらなる努力と精進を怠らない所存であります。なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝と、本年が災害のない平穏で平和な年でありますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「火災ゼロのまち・与謝野町」を目指し 本年も活動してまいります

与謝野町消防団 団員一同



平成22年度全国統一防火標語「消したかな あなたを守る 合言葉」

功績・功労をたたえて



旭目黒光章
井田嘉裕 さん

故井田嘉裕さん（下
山田）は、昭和46年、
野田町議会議員に初
当選して以来、82年ま
での4期16年にわたり
在職し、その間、産業
常任委員会、総務常任

委員会、建設常任委員
会の各委員長など議会
の要職を歴任。町政お
よび地方自治の発展と
住民福祉の向上に多大
な貢献を果たしました。
また、昭和47年から
59年までは野田町農
業委員会委員を務め、
農業振興が進み、後継
者が不足する状況に対
して、限られた農地を
守る機微に取り組み、
農業基盤整備に多大な
貢献を果たしました。



旭目黒光章
市田敬太郎 さん

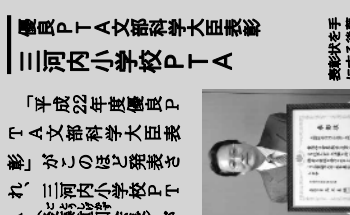
故市田敬太郎さん
（明石）は、昭和59年、
加悦町議会議員に初当
選して以来、平成8年
までの4期19年にわた
り在職し、その間、監
査委員、総務文教常任

委員会、産業建設常任
委員会の各委員長など
議会の要職を歴任。町
政および地方自治の発
展と住民福祉の向上に
多大な貢献を果たしま
した。
また、平成7年から
18年までは明石区長を
務め、行政とのパイプ
役として、地域コミュニ
ティの充実や住民相互
の意思疎通を図るなど、
自治会の発展に貢献
しました。



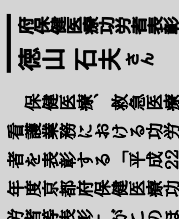
過去1年間で農林水
産大臣表彰を受賞した
517点の中から選ば
れる「農林水産功労大賞
杯等」の表彰におい
て、有限会社あつるあ
ふーむ（小田畑）代
表取締役が「日本農
林漁業振興会会長賞」
を受賞しました。
同社は、当地域では
条件の厳しい大豆裁

有限会社あつるあふーむの一むの皆さん



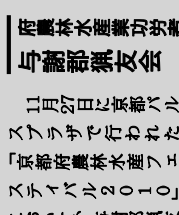
「平成22年度優良P
T A文部科学大臣表
彰」がこのほど発表さ
れ、三河内小学校PT
A（後援重組会長）が
受賞しました。
同PT Aでは、「あい
さつ日本一」の学校を
目指し、あいさつ運動
コンクールを挙げてい
るほか、母親委員会
主体で地域に伝わる民

表彰状を手にする後援重組重組会長



保健医療、救急医療、
看護業務における功
労を表彰する「平成22
年度京都府保健医療功
労者表彰」がこのほど
に発表され、地域保健
医療部門において徳山

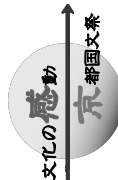
徳山石夫さん
徳山さんは、地域の
開業医として長年診療
に従事し、救急医療の
未整備の時期から往診
や時間外診療、夜間往
診を積極的に実施。ま
た、保育園や小学校、
福祉施設の医師として
町の保健福祉事業にも
携わるなど、本地域の
保健医療体制の充実と
向上に貢献した功績が
認められました。



11月27日に京都バル
スプラザで行われた
「京都府農林水産フェ
スティバル2010」
において、与謝郡振友
会（小田正直会長）が、
「農林水産功労者表
彰」を受賞しました。
加悦・野田川地域の
39人で構成される同会
は、兵庫県および丹後
管内の市町と連携して、
功績が認められました。



農作物等に被害を与え
る有害鳥獣の防除捕獲
に取り組んでおり、長
年にわたって府内の農
林水産業と農山村の
振興と発展に尽力した
功績が認められました。



心を繋ぐ文化祭 第26回国民文化祭・京都2011 「第15回江山文庫俳句大賞」入賞作品

昨年10月31日、国民文化祭「与謝郡振興」俳句大会」のついでとして開催した
「第15回江山文庫俳句大賞」において、現代俳句協会会長の宇多喜代子先生の選により、
1725句の応募作品から入賞・特選となった作品を掲載します。（敬称略）

●江山文庫大賞

冷衣着てくるぶしまるも少女かな
東京都 鈴木三栄子
（画）まだ大へはなりきつてないか
な冷衣を着た少女が写る。あゝ日本
の女子はあんなに可愛らしい。あ
んなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。

●第26回国民文化祭京都府実行委員会賞

向日葵のあたりに帽子掛け動く
与謝郡 宮野佐知子
（画）黄が花のあたりに帽子をかけた人
が写る。あゝ日本はあんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。

●与謝郡振興賞

礼深し京都市長の夏更織
八幡市 大山 文子

（画）暑い暑中、雨降る。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。

●宇多喜代子賞

屋敷裏に梅の花を風にまよふ
兵庫県 大和南子
（画）人に近い梅や、寒い木に住む鳥
が、屋敷裏に梅の花を風にまよふ。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。
あんなに可愛らしい。あんなに可愛らしい。

●特選（5句）

草平の膝に子がくるす大くる
神奈川県 吉田ひろし
樹や草も空の海となりけり
東京都 長谷川 唯

ほうたるの間にこ入れる龍を待む
福知山市 岩成 正義
一本のひまわりと海を見ている
福知山市 内田としこ
向日葵の影を今も覚えて藍冷衣
舞鶴市 大塚美子江

※今年では平成20年度の「俳句大賞」の
大会の入賞・特選作品を掲載します。

開催まであと
295日
(1月7日現在)
PR徹底
まゆまろ

農村に続け！ みんなの俳句教室

国民文化祭「与謝郡振興」俳句大会」の成功を目指して、より多くの人に俳句に親しんでもらおうと、国民文化祭と与謝郡振興委員会では初心者向けの俳句教室を6月から10月にかけて元祖俳句、中央公民館・与謝郡で行っています。受講生の皆さんの作品をご紹介します。（五十音順 敬称略）



西の空うらにのつれて大江山
一点の雲なき空や大極ましく
散歩する足もとみれば草紅葉
秋夜半祖母のおはきの手に余り
毛布縫む十指に息を吹きかけて
お母さんいっぱい縫むねアブラーを
寺の鐘打てば且つ散る紅葉かな
毛布縫む母の手魔法かけたよう
石燈や伝えたきことありしかと
新涼のたよりようやく庵さけり
里山を荒らされ狸爪を食む
行き暮れた我れに手を握る養山子かな
雨蛙夕立逃げたようう泣くな
とんぐりやころころころと新天地

青木 順一
安達 寛子
石出 一乃
米 常子
大江 清子
小林 博美
杉本 紀子
瀬戸 真由美
武田 正
中上 香人
長嶋 実
瀬口 征穂
松の 加長
与謝野 四季



まちの話題ワイド／心に響いた子どもたちのメッセージ。

与謝野町子ども発表会

「与謝野町子ども発表会」(与謝野町青少年育成会主催) 魅力や体験を通して学んだこと、将来の夢など、さまざまなテーマを発表。訪れた人たちは、子どもたちのメッセージを壇上に立った13人の子どもの心に響き入っていました。

自然と笑顔に
囲まれて

堀井 風花
若尾小6年

野球がしたい

植杉 友成
山田小5年

国際協力...
私達に
できること

城崎 亜耶
桑原小6年

地球の未来を
見つけて

大島 敬就
市端小6年

周りの人に
目を向けて
行動すること

為村 周
岩滝小6年

エース
ナンバー
10番への道

松下 紫音
加悦小5年

私の将来の夢

谷口 いち子
与謝小6年

ぼくにも
できる

能勢 大渡
石川小6年

つながる時間

内藤 あゆき
橋立中3年

ありがとう。

齋藤 翼
江陽中2年

視点

川口 はな
加悦中3年

私の夏休み

梅本 綾香
加悦台小3年

サマー
チャレンジを
通して

杉本 采理
三河内小6年

私の将来の夢

谷口 いち子
与謝小6年

つながる時間

内藤 あゆき
橋立中3年

エース
ナンバー
10番への道

松下 紫音
加悦小5年

私の将来の夢

谷口 いち子
与謝小6年

ぼくにも
できる

能勢 大渡
石川小6年

つながる時間

内藤 あゆき
橋立中3年

壇上にそろった13人の発表者。堂々とした主張
発表は来場者の心に響いていました(仮名敬称)



●三河内幼稚園作品展

「からすのパンやさん」の
世界を見事に表現!!

恒例の「三河内幼稚園作品展」が
12月11日から14日まで開催され、
園児らの力作を一目ようと、たくさ
んの来場者でにぎわいました。

三河内幼稚園では、造形活動を通し
て豊かな表現力を育てることを目的に
作品展を毎年開催しており、保護者だ
けでなく地域にも一般公開されています。
今年も、子どもたちの大好きな絵
本「からすのパンやさん」をテーマに、
約1カ月の制作期間を経てその世界が
見事に表現されました。

ホール中央の一際目を引くパン工
房は、「江原のおっちゃん」の愛称で
園児らに親しまれている江原昭三さ
ん(三河内)に地域の人たちと園児が
共同で制作。森を表現するために並べ
られた木々は、家庭にある廃材などを
使って親子が思い思いに制作しました。
今年は、木の枝や松ぼっくりなど



園児みんなで協力して作ったパン工房(右)
を前に記念撮影。自然と笑顔がこぼれます



にぎわうパン工房。園児制作のパンのほか、本物
の焼きたてのパンも来場者に振る舞われました

を使って親子で一緒に制作できるコー
ナーも設けられ、作品展やものづくり
を通してふれあいを深める親子の姿が
たくさん見られました。
また、作品展期間中には、手作りの
コック帽をかぶったかわいらしい園児
により、焼きたてのパンも振る舞われ、
来場者は作品展を満喫していました。

●障害者週間キャンペーン

卓球バレーをきっかけに
「障害者週間」(12月3日～9日)
期間中の12月4日、加悦地域公民館
で「第4回与謝野町卓球バレー大会」
が開催されました。

この事業は、重度障害のある人のた
めに始められた卓球バレーを通して障
害のある人への理解を深めてもらおう
と、与謝野町障害者福祉会と町が中
心となり企画したもの。卓球バレーは
障害の有無、特性、程度が違っても一
緒に協力し合い、また初めての人も
気軽に競技ができることとあって、町議会、
障害者福祉会、婦人会チームなど10
チームが熱戦を繰り広げていました。



笑顔があふれた発表会場

講師の松本純さん



●人権問題を考えるつらい
心と心を通わせる方法とは？
親業訓練インストラクターで、コ
ミュニケーションアドバイザーの松本
純さんを講師に迎え、「人権問題を考
えるつらい」が12月9日、野田川ワー
クバで開催されました。

発達障害のある息子を持つ母親とし
ての経験から、相手への思いが伝わる
コミュニケーション術を学んだという
松本さん。「親が子どもを信頼できな
くて、子どもが親を信頼できるはずが
ない。気持ちや言葉にしてお互いの気
持ちを見えるようにすることが大切」
と、良い親子関係を築く効果的な方法
について分かりやすく伝えていました。



着付け技術を習得した受講者の皆さん

●きもの着付け教室
多くの着付け技術を習得
9月29日から8回にわたり、与謝
野町染色センターで「きもの着付け教室
初心者講座」が行われ、延べ71人が
受講しました。

講師に和装総合学院の長島みやこさ
んを迎えた今回の講座では、初心者か
一人できものを着れるようになること
を目的に、前半はきもの着上げや袋帯
二重太鼓といった基礎を習得。後半は
名古屋太鼓や変わり結びといった帯結
びの応用を学びました。受講者の皆さ
んは、回を重ねるごとに上達し、多く
の着付け技術を習得していました。

1/16-2/16

番組ガイド

制作番組予定をお知らせします。番組内容は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

2月は駅伝！



「府民総体市町村対抗駅伝競争大会」が2月13日、福知山市の三段池公園をスタート・ゴールに行われ、8区間 36.309km のコースで府内約 30 チームがタスキをつなぎます。昨年6位の与謝野町チームの活躍に注目です！

今月のイチオシ

1/16 国 20:00 制作番組総集編 (1月12日～ 14日放送分)	17 月 20:00 知っとコーナー、 ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)	18 図 20:00 健やか広場「子 育て講演会」 育て講演会」	19 国 20:00 知遊館音楽会 (提供ビデオ)	20 国 20:00 てれびふるさと 塾「人権問題を 考えるつどい」	21 国 20:00 健やか広場「子 育て講演会」(再 放送)	22 国 20:00 知遊館音楽会 (提供ビデオ) (再放送)
23 国 20:00 てれびふるさと 塾「人権問題を 考えるつどい」 【再放送】	24 国 20:00 知っとコーナー、 ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)	25 図 20:00 懐かしのメロ ディ (提供ビデ オ)	26 国 20:00 NHK ビデオきよ うの健康「今度 こそ禁煙大作戦 ①」	27 国 20:00 国民文化祭啓発 番組「よさの～ 俳句の旅」	28 国 20:00 懐かしのメロ ディ (提供ビデ オ) (再放送)	29 国 20:00 NHK ビデオきよ うの健康「今度 こそ禁煙大作 戦」(再放送)
30 国 20:00 国民文化祭啓発 番組「よさの～ 俳句の旅」【再 放送】	31 月 20:00 知っとコーナー、 ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)	2/1 図 20:00 住民環境課から のお知らせ「進 めよう！リサイ クル運動」	2 国 20:00 NHK ビデオきよ うの健康「今度 こそ禁煙大作戦 ②」	3 国 20:00 テレビ交通教室 「お知らせ」進 めよう！リサイ クル運動」(再 放送)	4 国 20:00 住民環境課から のお知らせ「進 めよう！リサイ クル運動」(再 放送)	5 国 9:00 NHK ビデオきよ うの健康「今度 こそ禁煙大作戦 ②」(再放送)
6 国 20:00 テレビ交通教室 【再放送】	7 月 20:00 知っとコーナー、 ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)	8 図 20:00 2月のTANG O (最新ヒット 曲)	9 国 20:00 ちうすぐ確定申 告です！	10 国 20:00 月イチきょう と府 (京都府広 報番組)	11 国 放送お休み	12 国 20:00 懐かしのメロ ディ (提供ビデ オ)
13 国 20:00 制作番組総集編 (2月8日～12 日放送分)	14 月 20:00 知っとコーナー、 ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)	15 図 20:00 健やか広場「骨 粗しょう症予 防」	16 国 20:00 府民総体市町村 対抗駅伝競走大 会	●再放送予定 通常放送は午後8時から、再放送は、午後9時、午後10時、 翌日の午前9時、午後0時15分、午後3時です。 ●ダビングサービス 放送した番組を1番組・1本当たり300円でダビングし ます。各戸番で受け付けていますのでご利用ください。 (DVD・VHS等のメディア・テープはご準備ください)		



投稿動画大募集

YOSANO-STYLE に
動画を投稿しませんか

「YOSANO-STYLE 投稿動画大募集」を開催！ 与謝野町地域ポータルサイト YOSANO-STYLE に 動画を投稿して動画大賞をゲットしよう！

テーマは「与謝野の冬」

投稿動画のジャンルは問いません。

投稿作品から大賞を決定。

受賞者には豪敵な景品をプレゼント。

投稿受付期間は、平成 23 年

1 月 1 日から 3 月 31 日まで！

<http://style.town-yosano.jp/>

投稿時のご注意

- 投稿作品は、未発表の動画および与謝野町内の情報に限ります。
- 1 人何作品でも投稿できますが、内容等に不備がある場合や盗作の疑いのある作品については削除します。
- YOSANO-STYLE 投稿規約を守り投稿してください。
- 投稿できるデータは 2GB 以下および 15 分以内です。
- 投稿した情報は YOSANO-STYLE の動画サイトと YouTube に掲載されます。
- 大賞作品は KYT の自主放送番組で放送することがあります。
- 大賞の発表は 5 月初旬に YOSANO-STYLE「みんなの広場」で発表します。
- 投稿は KYT の加入者に限ります。
- 投稿には専用パスワードを取得していただく必要があります。また、YouTube へのアカウント登録が必要です。

貸出用カメラをご利用ください

簡単にビデオ撮影をしていただける家庭用ビデオカメラの貸し出しをしています。希望者は与謝野町有線テレビ (☎ 43-2378) まで。



今月の納期	
1/31(月)まで	町府民税 4期
国民健康保険税 8期	
1/27(金)28(金)31(月)	夜間納税窓口
17時から午後8時まで	野田川庁舎(税務課)
※納付書をご持参ください。	

与謝野町役場	
岩津地域振興課	☎ 46-3001 (代)
総務課	☎ 46-3002
企画財政課	☎ 46-3003
企業財政課	☎ 46-3004 (消防安全)
建設課	☎ 46-3008
環境課	☎ 46-3005 (難民行政)
農林課	☎ 46-3267
商工観光課	☎ 46-3269
会計課	☎ 46-3007
野田川庁舎	
野田川地域振興課	☎ 44-2081 (代)
住民環境課	☎ 44-2082
税務課	☎ 44-2083
水道課	☎ 44-2084
下水道課	☎ 44-2085
加悦庁舎	☎ 43-1511 (代)
加悦地域振興課	☎ 43-1512
福祉課	☎ 43-1513
保健課	☎ 43-1514
農林課	☎ 43-2191
議会事務局	☎ 43-0215
教育委員会 教育総務課	☎ 43-2192
教育委員会 教育推進課	☎ 43-2193



ご存知ですか？固定資産税の減額制度

省エネ改修・バリアフリー化・耐震改修 ☎ 44-2084

住宅の省エネ改修工事ははじめ、バリアフリー化の改修工事、耐震改修工事を実施した場合、工事が完了した年の翌年度以降、一定期間に限り固定資産税を減額する制度があります。

減額制度の適用を受けるためには、いずれの場合も「改修工事終了後3ヶ月以内」に必要書類を添付した申告書を町に提出することが必要です。不明な点は税務課までお問い合わせください。

省エネ改修

【減額要件】

- 平成20年1月1日以前に建築された住宅で、新築住宅の軽減の特例や耐震改修工事に



バリアフリー化

【減額要件】

- 平成19年1月1日以前から存在し、1月1日現在で65歳以上の入居者介護認定または要介護認定を受けている入居者のいる人(地方税法施行令第7条該当)のいずれかの人が居住する住宅(賃貸住宅を除く)であること
- 平成19年1月1日以前に建築された住宅で、新築住宅の軽減の特例や耐震改修工事に伴う軽減措置の対象となっていない住宅であること
- 補助金等を除く自己負担額が30万円以上であること



耐震改修

【減額要件】

- 昭和51年1月1日以前に建てられた住宅

【減額内容】

工事完了期間

減額期間	減額率
平成22年1月1日～平成24年12月31日	2年分
平成25年1月1日～平成27年12月31日	1年分



所得税 町府民税の申告相談と受付は3月15日(火)まで

申告はできるだけお早めに！ ☎ 税務課 44-2084

毎年期限近くになると大変複雑しますので、申告はできるだけ早く済ませてください。

この不明な点は、税務課 ☎ 44-2084 または岩津税務署 ☎ 46-3267 へお問い合わせください。

町府民税の申告の必要な人

平成23年1月1日現在、与謝野町に居住している人は申告書を提出してください。所得のない人もその旨を申告してください。

【申告の必要な人】

- 次に該当する人は申告書の提出は不要です。
- 所得税の確定申告を提出した人
- 給与所得だけで勤労先から給与支払報告書を提出した人
- 税法上の扶養親族になつていない人
- 公的年金等に係る所得のみで、所得割の納税義務を負わない人

混雑解消のためにご協力をお願いします

- 申告書が郵送されてきた人は、必ず開封し、住所・氏名・フリガナを記入しておいてください。
- 事業所得(営業、その他事業、農業所得)や不動産所得のある方は、収支内訳書(少なくとも、必要経費を項目別に年間の計算)を記入して持参してください。
- 分離申告は専門的な内容となるため、岩津税務署で申告してください。

所得税の申告の必要な人

- 事業をしている人
- 不動産収入のある人
- 土地や建物を売った人
- 平成22年中の所得の合計額が各種所得控除の合計額より多い人
- 給与の収入金額の合計額が2000万円を超える人
- 給与を1カ所から受けている人で、給与外の所得が20万円を超える人
- 給与を2カ所以上から受けている人で、年末調整を受けていない給与収入と給与所得や退職所得以外の所得が20万円を超える人

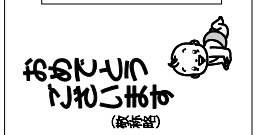
申告に必要なもの

- 印鑑
- 平成22年分の収入が分かる書類
- 給与所得者や年金受給者で確定申告をする人は、平成22年分源泉徴収票
- 所得控除の計算に必要な書類、払込証明書等(生命保険料、地震保険料、国民年金、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療(長寿医療)保険料等)

●申告相談日程

相談先	相談会場	2月												3月												相談時間	対象 税目
		16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	21日 (月)	22日 (火)	23日 (水)	24日 (木)	25日 (金)	28日 (月)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	7日 (火)	8日 (水)	9日 (木)	10日 (金)	11日 (土)	14日 (火)	15日 (水)						
税務署	宮津税務署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
税理士 (無料相談)	商工会本所	○			○																						
	同加悦支所				○																						
	同岩津支所						○				○																
役場 税務課	元 気 館		○	○	○	○								○	○	○											
	知 遊 館							○	○	○						○											
	野田川庁舎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

※税理士による無料税務相談の受付は、9:30 から 15:30 までです。 ※いずれも 12:00 からは 13:00 までは休憩時間です。



おなごころ 広報誌

町内に配布している 広報誌には掲載しています

まちのうごき

平成22年11月末現在

人口 24,554人 (-19)

男 11,605人 (-22)

女 12,949人 (+3)

世帯数 9,098戸 (+4)

※世帯内は毎月比

ウェイトリフティング日本代表

川畑源大さん

苦難を乗り越え、いざ世界へ。

勤務後、毎日2時間半から3時間、母校で後輩とともに汗を流す



五輪選手も輩出したウェイトリフティングの名門、加悦谷高校。昨年、卒業生がまた一人、世界の舞台にデビューした。

その人の名は、川畑源大さん。昨年、全日本選手権を初制覇し、日本代表として世界選手権とアジア大会に初出場。さらに、5月には94kg級のスナッチで日本新記録(当時)を樹立。充実し

た一年を「初めて尽くしで特別な年だった」と振り返る。

そんな川畑さんが競技を始めたのは、同校ウェイトリフティング部顧問の父・勉^{とよ}さんの影響。「物心ついたときにはバーベルにさわっていた。ずっとやるんだろうなと思った」

試合に初めて出場したのは小学5年生の時。その後、中学校でめきめきと頭角を現し、2年で全国2位、3年で全国優勝を果たした。加悦谷高校では、2年でインターハイを初制覇。秋の国体も制し、3年時には全国高校選抜、インターハイ、国体とすべての全国大会で優勝。高校5冠の快挙を達成した。

しかし、順風満帆な競技人生に挫折の時がやってくる。日本大学入学後2年間は環境になじ

めず、記録も低迷。

心機一転、3年時に金沢学院大学に編入すると、本来の力を取り戻し、「プライドを捨てて、今自分ができることを丁寧にやり直すと記録が出るようになった」。4年で全日本選手権に初出場し、大学記録も樹立。北京五輪も視野に入れるほどの完全復活を果たした。

ところが、またもや苦悩の時期が訪れる。大学では教員免許を取得したものの、「競技を続けたい」と思いと社会人にならなければという気持ちの葛藤があり、3カ月間全くバーベルにさわらなかつた時もあった。

転機となったのは、一昨年の春。福知山高校の講師として採用されると覚悟が決まった。

「人に教えるためには、まず自分自身がしっかりしないといけない。そのために今やらなければならないこと、それはウェイトリフティングだった」

その年の国体で復活優勝を果たし、勢いそのままに昨年の大活躍となった。

勉さんは「特に昨年のアジア大会後、自分に対する厳しさが出てきた。来春の五輪選考会まで一日を大事にやってほしい」とエールを送る。

「これまでは一つの壁を破ると、気持ちが切れてしまっていた。いかに気持ちをキープして、自分に妥協せずに選考会までやり続けられるか。ロンドン五輪に出ることは目標だが、すべてではない。1年半後、『よくがんばった』と自分を褒めてやるかの方が大切」と川畑さん。

そして、その先は、母校の教員を目指す。

「父ももうすぐ定年。自分が加悦谷高校に教員として帰り、父の思いを継いで、加悦谷高校ウェイトリフティング部の新たな伝統を築いていきたいですね」

かわばたげんた

●昭和60年生まれ。三河内在住。江陽中、加悦谷高を経て日本大入学。3年時に金沢学院大に編入学。昨年から福知山高の保健体育の講師を務める。父は加悦谷高ウェイトリフティング部顧問。弟2人も同校で全国優勝。180cm、92kg